

令和4年度採用山形県公立学校教員選考試験 春のオンライン説明会

山形県の先生になろう

令和4年度採用山形県公立学校教員選考試験説明会

山形県教員採用公式ツイッター

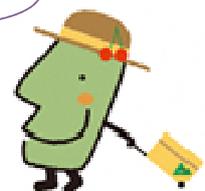
本日の内容

- 1 山形県の教育
- 2 研修体制
- 3 職場環境
- 4 待遇
- 5 試験の変更点
- 6 試験の概要
- 7 よくある〇〇



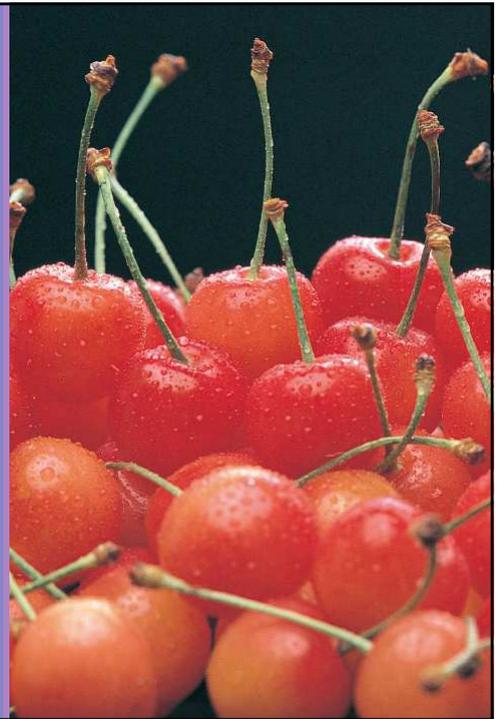
最後に質疑応答の時間があります。
遠慮なくお聞きください。

山形県DC推進監
きてけろくん



1 山形県の教育

- 目指す教育
- 目指す教師像
- 特色ある教育



山形県の目指す教育

第6次山形県教育振興計画

【基本目標】

「人間力に満ちあふれ、
山形の未来をひらく人づくり」

【目指す人間像】

「いのち」をつなぐ人
学びを生かす人
地域をつくる人

〈テーマ〉 つなぐ ～いのち、学び、地域～

〈目指す人間像〉

「いのち」をつなぐ人

自分の存在や生き方を大切にしながら、多様性や個性を受け止め、他者の生命や生き方を尊重する人。先人から自分へと受け継がれてきた生命を、次の世代につないでいく人。

学びを生かす人

学びを重ねることを通して、知徳体を磨き、自ら考え、主体的に判断し、変化や困難に直面しても柔軟かつ的確に対応できる人。多様な他者と協働しながら新たな価値を生み出し、学びを人生や社会に生かす人。

地域をつくる人

郷土を愛し、地域とつながり続ける人。地域コミュニティの一員として、あるいは地域と継続的かつ多様な形で関わり、地域のよさや課題を主体的に捉え、地域の人と協働することを通して、地域の未来をつくる人。

広い視野と高い志を持って (全体を貫く基本姿勢)

夢や希望を持って、その達成に向け行動し続ける姿勢。地域の窓から世界を見るなど広い視野で物事を考え、より高い価値の創造に果敢に挑戦し続ける人。

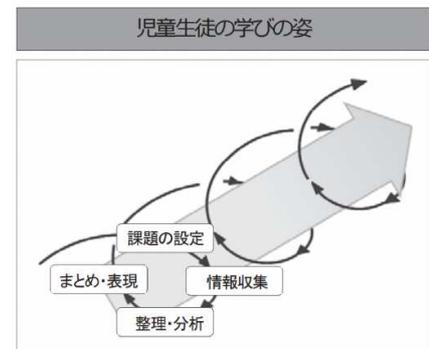
目指す教師像

- 1 児童生徒への深い教育愛と教育に対する強い使命感、責任感のある方
- 2 明るく心身ともに健康で、高い倫理観と規範意識を備え、法令を遵守する方
- 3 豊かな教養とより高い専門性を身につけるために、常に学び、自らを向上させる姿勢をもち続ける方
- 4 山形県の教員として、郷土を愛する心を持ち、人とのつながりを大切にして、地域社会においてよりよい学校を築こうとする方

1 山形県の教育

特色ある教育

- 教育やまがた「さんさん」プラン
少人数学級のメリットを生かしたきめ細やかな指導の充実により、個の能力を最大限に伸ばし、「わかる授業」「いじめや不登校のない楽しい学校」を目指す
- 探究型学習
 - ・「課題の設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の一連の探究活動
 - ・児童生徒の主体的・協働的な学び
 - ・課題解決のために必要となる思考力・判断力・表現力等を育む



1 山形県の教育

2 研修体制

- キャリアアップ
- 初任者研修
- チーム「あなた」



キャリアアップ

～教員ライフとキャリアステージ～

1～3年目

4～10年目

11～20年目

21年目～

始発期

成長期

充実期

組織運営期

初任者研修・新採教員研修

フォローアップ研修

教職5年経験者研修

中堅教員等資質向上研修

ステージアップ研修

教職中長期経験者研修

新採教頭研修

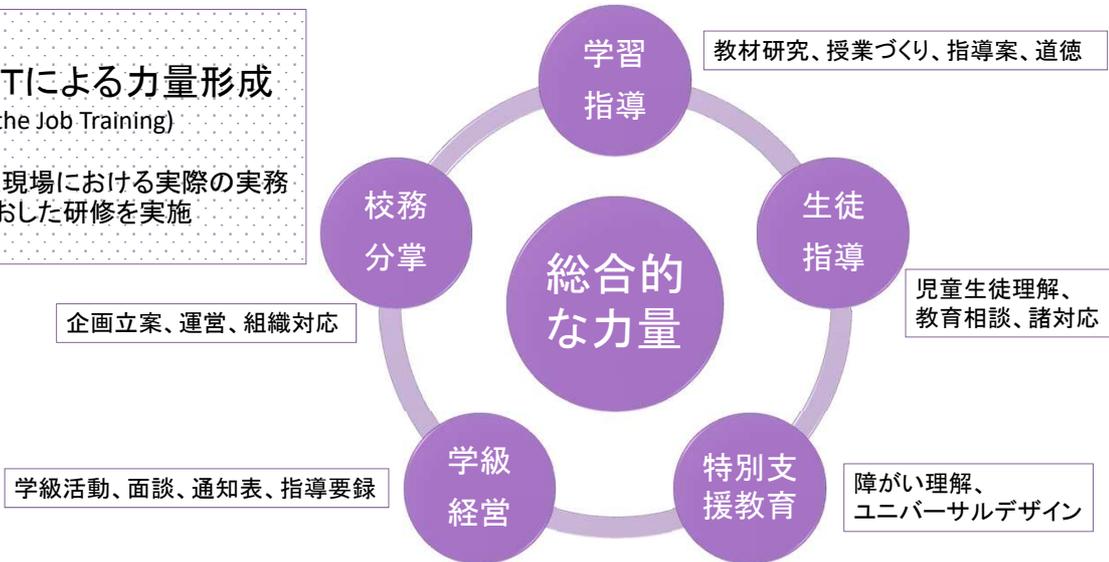
新採校長研修

初任者研修

～校内における研修(年間100時間以上)～

OJTによる力量形成 (On the Job Training)

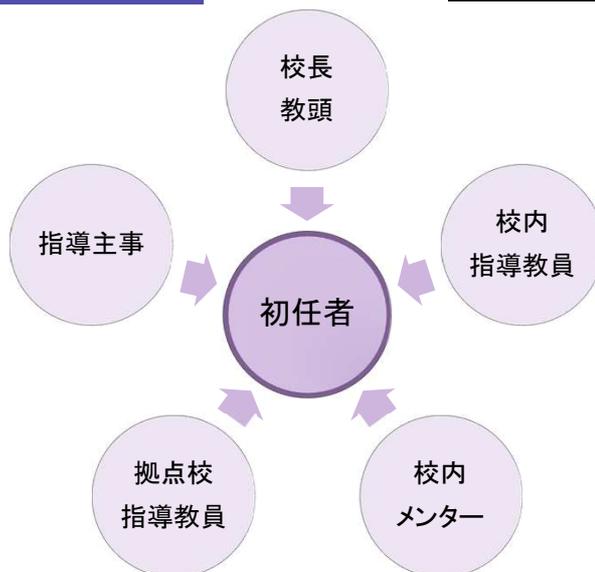
学校現場における実際の実務
をととした研修を実施



2 研修体制

チーム「あなた」

～サポート体制～



○1年目だけではなく、2～3年
目の**フォローアップ研修**と合わ
せた一体的な研修を実施

○校外研修時には、授業の進度
が遅れることのないよう、
非常勤講師を派遣

2 研修体制



3 職場環境

- 働き方改革
- 人材の活用
- 負担軽減に向けて

働き方改革

～令和3年度の重点の取組み～

- **勤務時間**に関する意識啓発と管理の徹底
- 適切な**部活動運営**の推進
- 教員が**担うべき業務**の明確化と適正化
- 教員の**事務負担**の軽減
- **保護者・地域**への周知と地域人材の活用



山形県公立学校における働き方改革 ～令和3年度(概要)～

■ 取組み重点期間（第1期）：令和2年度～令和4年度
 ■ 時間外在校等時間の基本方針：月45時間、年360時間を越えない

働き方改革プランの基本方針と取組み重点期間

- 【具体的目標】 ※1：在校等時間における超過勤務時間
- ☑ 令和4年度末までに複数月平均的超過勤務時間^{※2}80時間を超える教員数0人を目指す
 - ☑ 1人1か月あたりの超過勤務時間^{※2}を前年度比20%削減する
 - ☑ 1人1か月あたりの超過勤務時間^{※2}が80時間を超える教員数と前年度比40%減とする

令和2年度上期の概況

時間外在校等時間（1人1か月あたり平均）			
◆ 小学校 36時間 6分 (44時間 55分)	◆ 中学校 47時間 22分 (62時間 9分)	◆ 特別支援学校 23時間 38分 (38時間 28分)	◆ 高等学校 40時間 52分 (59時間 52分)

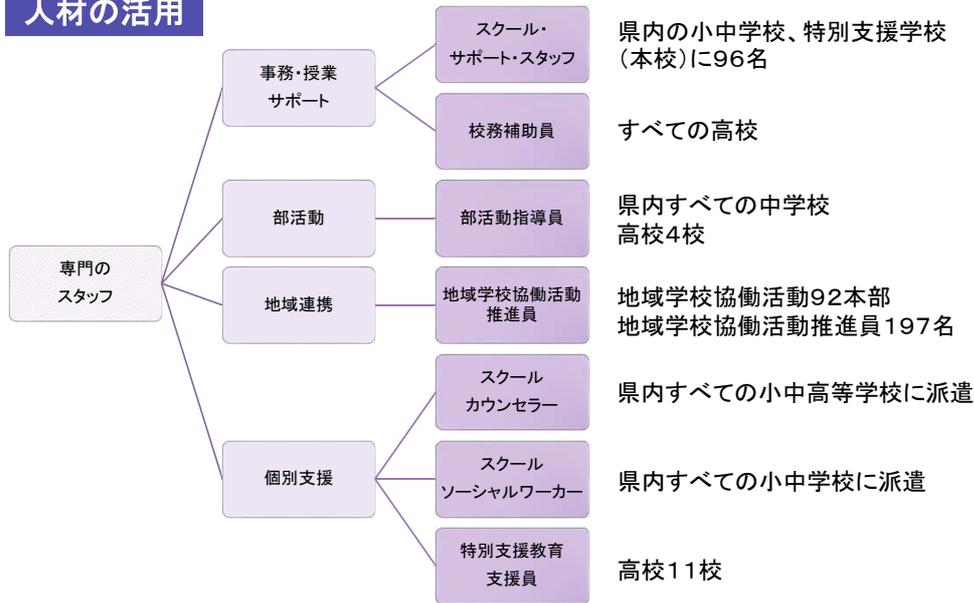
注：令和2年度上期（令和2年9月～10月の4ヶ月の値を平均）
 ※2：令和2年10月1日～10月31日の時間外在校等時間

- 【勤務時間外の主な業務】（上期調査でみられた顕著な特徴）
- ☑ 教員の手帳管理
 - ☑ 中堅教員の校務分掌
 - ☑ 部活動指導
- 【働き方改革オンライン会議^{※1}】からの提言
- ☑ 学校：在校等時間の「見える化」、業務のメリハリ、部活動方針の遵守
 - ☑ 教員：客観的勤務時間管理、事務負担軽減、人的支援拡充、部活動改革、啓発活動
 - ☑ 地域：地域人材の活用、部活動改革への協力
- ※2：令和2年12月18日開催

令和3年度の重点取組み

- 働き方改革プランで掲げた10本の柱（重点取組み）に沿った改革を推進しながら、以下の5項目について継続して重点的に取り組む
- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ☑ 勤務時間に関する意識啓発と管理の徹底 ☑ 客観的な勤務時間管理システムの構築と活用を促進するとともに、管理職による勤務時間管理の意識啓発を推進する | <ul style="list-style-type: none"> ☑ 教員が担うべき業務の明確化と適正化 ☑ WVEを活用した働き方改革の経路検討の促進と推進を促進し、学校や教員が担うべき業務についての適正化を促進する |
| <ul style="list-style-type: none"> ☑ 適切な部活動運営の推進 ☑ 「部活動の在り方に関する方針」を遵守した活動を推進し、教員の負担軽減に取り組む ☑ 地域運動部活動推進事業の研究校における実践研究を行い、新しいスポーツ環境の構築を目指す | <ul style="list-style-type: none"> ☑ 教員の事務負担の軽減 ☑ 勤務支援システム、ソフトの活用や人的支援、外部人材の活用による教員負担の軽減を促進する ☑ 業務センターのWVE自ページ「授業情報システム」の活用を促進し、授業・教材準備の負担軽減を図る |
| <ul style="list-style-type: none"> ☑ 保護者・地域への周知と地域人材の活用 ☑ 地域学校協働活動推進員による地域とのコーディネート業務の好事例を推進し、地域との協働を促進する ☑ PTA連絡会等へのオンラインを活用した説明を実施し、地域・保護者の理解と協力を深める | |

人材の活用



左記以外にも、市町村独自に

- ・学習支援
 - ・特別支援
 - ・教育相談
 - ・読書活動
 - ・日本語指導
 - ・外国語指導
- 等々

を担当する方が200名近くいます。



3 職場環境

負担軽減に向けて

□統合型校務支援システム
校務処理の標準化、データ管理

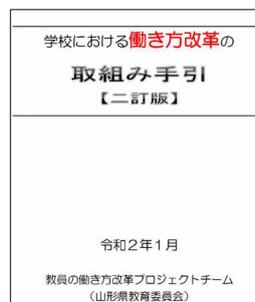
□留守番電話
勤務時間外の電話対応

□学校給食費の公会計化
未納等の処理

□出張や研修
整理・統合、長期休業中の休暇

□「取組み手引」
各校での良い実践例をまとめ、さらなる改善に役立てる

□「どだなだ」
働き方改革の通信を発行し、意識啓発を図る



3 職場環境



4 待遇

- 給与等
- 休暇等
- 福利厚生

給与等

□初任給

	大学卒	大学院卒
山形県の行政職	¥191,700	¥204,100
山形県の教育職＝教諭	¥219,024	¥241,280

教育職は教職調整額を含む。山形県内の大学卒初任給平均は¥192,600。初任給は職歴、経験年数を加算する。

□手当

- ・期末勤勉手当
4. 35ヶ月分を、6月と12月に分けて支給
- ・住居手当
例) 一ヶ月の家賃が¥50,000のアパートを借りた場合¥23,500
- ・扶養手当
扶養する配偶者、子、祖父母等がいる場合に支給
- ・通勤手当
通勤距離、通勤方法に応じて支給

他の手当もあります

休暇等

- 勤務時間 ・週あたり 38時間45分
・休日は、土曜日・日曜日、祝日、年末年始

□休暇・休業(おもなもの)

休暇名	日数	備考
年次有給休暇	20日	翌年への繰り越しあり
夏季休暇	6日	
リフレッシュ休暇	5日	満30、40、50歳
私傷病休暇	90日	生活習慣病休暇への引き継ぎあり
生活習慣病休暇	180日	がん等を含む生活習慣病や精神性疾患
忌引休暇	10日	1～10日の範囲
ボランティア休暇	5日	自発的な社会貢献活動
骨髄移植休暇	必要な期間	
災害休暇	必要な期間	非常災害発生時
感染症等予防休暇	必要な期間	
婚姻休暇	7日	新婚旅行等で取得する方が多い

4 待遇

福利厚生

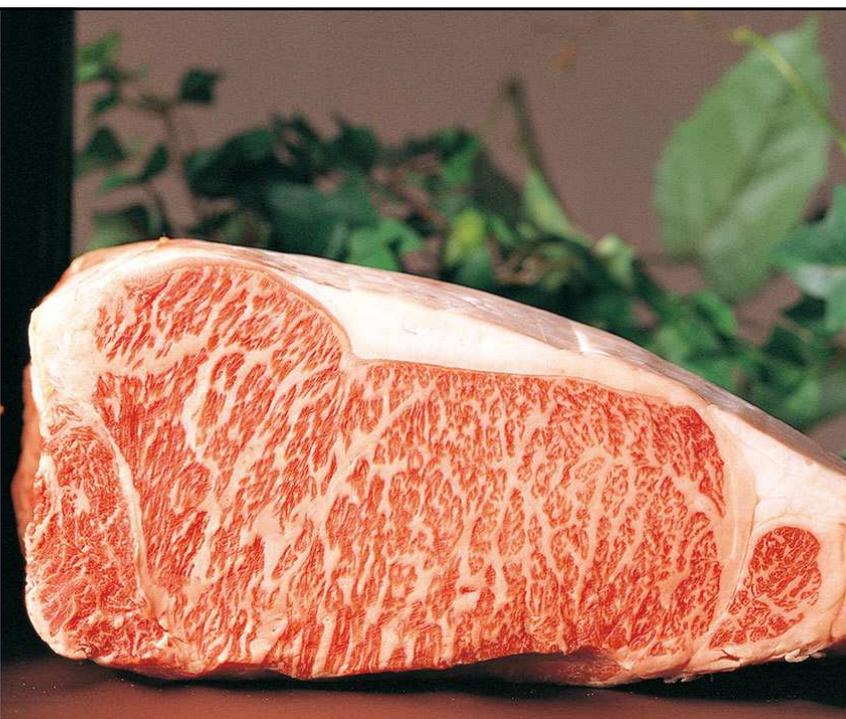
- 採用と同時に「公立学校共済組合員」
- 検診事業(年1回の定期健康診断、人間ドック)
東北中央病院は山形県にあります



- 給付事業(病気、災害、厚生年金)
- 貸付事業(住宅、結婚、出産、教育)
- 健康相談、メンタルヘルス相談
- ライフステージに合わせた祝金、見舞金
- リフレッシュ推進(プロスポーツ体感、宿泊利用補助)

4 待遇

5 試験の 変更点



変更点

1 新型コロナウイルス感染症対応による試験内容の変更
令和4年度採用試験では、次の試験内容を**実施しません**。

- ①一次試験： 集団討議、保健体育の水泳実技
- ②二次試験： 模擬授業等

一次試験

- 「教職教養・一般教養」または「小論文」
- 「教科・科目」
- 「実技試験」(保健体育は選択2領域のみ)
- ~~○「集団討議」~~

二次試験

- 個人面接1
- 個人面接2
- 作文
- ~~○模擬授業等~~

※一次試験は、「**一日のみ**」となります。

※二次試験は、「**半日のみ**」となります(小と特小の実技は別日)。

変更点

2 講師等特別選考の変更

年齢要件について、**一般選考と同様(59歳以下)**※¹となります。

※¹:昭和37年4月2日以降に出生した者。

《参考》 出願に必要となる講師歴

平成28年4月1日から令和3年4月30日までの期間内で、
通算13か月以上の講師歴※²を有すること※³。

※²:出願できる講師の具体的な職については、実施要項を参照。

※³:出願する校種等、教科・科目以外の講師歴でも可。

5 試験の変更点

変更点

3 大学推薦特別選考の新設

教職教養・一般教養が免除となります。

山形県公立学校教員を**第一志望**とし、令和4年度採用希望

推薦の対象となる校種等(教科・科目)

・ 小学校教諭※(「小学校英語」を含む。)

・ 中学校教諭※(国語、理科、技術、家庭、英語)

・ 高等学校教諭(地理、物理、家庭、情報、農業、建築、商業、看護、福祉)

※ 特別支援学校との併願は不可。

推薦可能人数:各大学等において推薦することができる人数は、

各校種等(教科・科目)につき**1名**

大学及び大学院それぞれから各校種等(教科・科目)につき1名

出願の際、大学で作成してもらった「大学推薦特別選考推薦書」を添えて
他の出願書類とともに出願する。

5 試験の変更点

変更点

4 スポーツ特別選考の対象種目の追加

《対象種目》

体操(新体操)、ウエイトリフティング、ソフトテニス、フェンシング
アーチェリー、**ボクシング**

5 二次試験の各試験項目の配点を変更

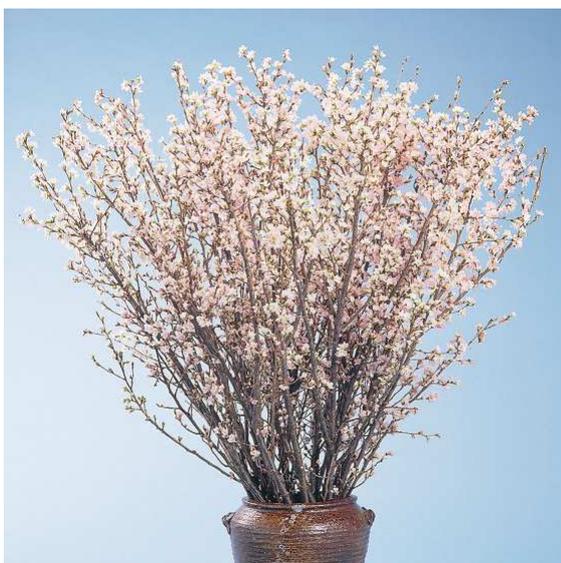
《面接1・2の合計点》

・令和2年度実施:計250点 ⇒ 令和3年度実施:計350点

《実技(小学校及び特別支援学校小学部)》

・令和2年度実施:25点 ⇒ 令和3年度実施:50点

5 試験の変更点



6 試験の概要

桜が咲きますように



選考を行う校種等、教科・科目と採用見込み数

校種等		採用見込数	採用見込数
小学校 (小学校英語を含む)			約190名
中学校教諭		国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	約85名
特別支援学校教諭		小学部 中学部(中学部教諭の教科は中学校教諭に同じ)	約30名
高等学校	教諭	国語、地理、公民、数学、物理、化学、生物、保健体育、英語、家庭、情報、農業、機械、電気、建築、商業、看護、福祉	約35名
	助教諭	機械、電気、建築	
養護教諭			約15名
栄養教諭			若干名

3年分の過去問題は、山形県庁1階 行政情報センターで見ることが可能です。

6 試験の概要

校種等、見込数、合格者数

校種等	採用見込数	受験者数	一次合格者数	二次合格者数
小学校(小学校英語を含む)	約200名	304名	260名	200名
中学校	約85名	229名	118名	85名
特別支援学校小学部・中学部	約30名	50名	43名	31名
高等学校	約40名	192名	73名	40名
養護教諭	約30名	71名	40名	30名
栄養教諭	若干名	15名	3名	1名

中学校・特別支援学校中学部

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語

高等学校

国語、「世界史・日本史」、公民、数学、物理、生物、地学、保健体育、家庭、英語、農業、商業、情報、機械、電気、建築、福祉

6 試験の概要

選考区分

区分	志願資格	
一般選考	特別選考の志願資格の方以外はこちら	
特別選考	講師等	本県の講師等(非常勤も含む)を、 通算13ヶ月 以上
	現職教員Ⅰ・Ⅱ	現在 、本県以外において正規採用として、 3年以上継続 ※ 3年目 の方も可
	大学推薦	校種等、教科・科目で、大学より1名
	社会人	教科・科目と関連する実務経験を、 5年以上継続 (英語、工業、情報、看護、福祉)
	教職大学院	令和元又は2年度実施の本県試験で合格後に辞退し、教職大学院に在籍
	前年度一次試験合格者	前年度一次合格、二次不合格の方
	障がい者	障がいのある方
	スポーツ	国際大会出場、全国3位以上の指導実績 ※高校の保健体育のみ

□現職教員Ⅰ(高校以外)、現職教員Ⅱ(高校)

□特別選考合格者

講師等:48名、現職教員Ⅰ:41名、現職教員Ⅱ:3名、教職大学院:2名

6 試験の概要

試験内容

※印のある試験内容は、令和2年度実施の字数です。

試験	試験内容	時間	具体的内容
一次試験	教職教養・一般教養	80分	教育法規、教育心理等の教職教養 と 一般教養
	教科・科目	110分	出願した教科・科目の内容 (実技がある教科・科目では、90分で実施)
	小論文※	80分	指定されたテーマについて、1000字以内で論述
	実技試験	—	一部の校種等、教科・科目のみ
二次試験	個人面接1・2	—	面接官数名と受験者との面接
	作文※	—	指定されたテーマについて、800字以内で作文
	実技試験	—	小学校と特別支援学校小学部

・校種等、教科・科目、選考区分によって、試験内容は異なります。

6 試験の概要

試験内容と選考区分

□一次試験

	一般選考	特別選考				現職教員 I 教職大学院 前年度一次
		現職教員 II 大学推薦	講師等 社会人	スポーツ	障がい者	
教職教養 ・一般教養	○	免除	免除	免除	○	免除
教科・科目	○	○	○	免除	○	
小論文	—	—	○	○	—	
実技試験	○	○	○	免除	○	
面接	—	—	—	○	—	

□二次試験:「現職教員 I」と「教職大学院」において、実技を免除。

6 試験の概要

実技試験のある校種等

※印のある教科・科目は、令和2年度実施の試験内容です。

	校種等、教科・科目	試験内容	
一次	中学校	音楽	・新曲視唱、新曲視奏、ピアノ演奏、歌唱指揮 ・随意曲選択演奏(歌唱または器楽)
		美術※	・水彩画
	中学校 高等学校	保健体育	・次の領域から2領域選択 陸上競技、器械運動、球技(バレーボール、バスケットボール、 サッカーのうち1種目)、武道(柔道、剣道のうち1種目)、ダンス
	中学校	技術※	・木材加工、回路の製作
	中学校 高等学校	家庭※	・調理、裁縫
		英語	・英語による面接
	養護教諭※	・場面对応	
二次	小学校 特支小学部	音楽(伴奏譜によるピアノ演奏) か 英語(英語による簡単な自己紹介と日常会話) のいずれかを選択	

6 試験の概要

作文のテーマ

※ 令和2年度実施の内容です。

- 主体的な学びの視点に立った授業とは
- 個を尊重しながら協調性を育む教育とは
- 信頼される教員になるために大切なこととは
- 児童生徒が安心して通うことができる学校とは
- 自立する力を育てる教育とは
- 自己肯定感を育む教育とは

過去3年分の問題等は、山形県庁1階の「行政情報センター」で閲覧・複写できます。
来庁できない場合、電話による郵送依頼も可能です。 023-630-3014

6 試験の概要

加点制度

校種等	要件	加点
小学校	「数学」「理科」「音楽」又は「英語」の免許状	5点
中学校	受験教科以外の教科の免許状	5点
特別支援学校	「視覚」と「知肢病」又は「聴覚」と「知肢病」	5点
特別支援学校	「視覚」「聴覚」及び「知肢病」	10点
小学校、中学校、高等学校	特別支援学校の免許状	10点
高等学校	受験教科以外に、「情報」又は「福祉」の免許状	10点
高等学校「地理」	高等学校の「公民」の免許状	5点
高等学校「公民」	高等学校の「地理歴史」の免許状	5点
小学校、特支小学部	実用英語技能検定2級以上、TOEFLiBT 65点以上、又はTOEIC 600点以上	10点
英語	実用英語技能検定準1級以上、TOEFLiBT 80点以上、又はTOEIC 730点以上	10点
全校種等	司書教諭の資格を有する者	5点

試験が実施される前に得点を得ることができますので、確実に有利です。詳しくは実施要項を参照。

6 試験の概要

併願制度

次の組み合わせのいずれかを第一志望、第二志望として志願できます。

組み合わせ①

「小学校」と「特別支援学校小学部」

小学校と特別支援学校の
両方の免許状が必要

組み合わせ②

「中学校」と「特別支援学校中学部」

中学校と特別支援学校の
両方の免許状が必要

・ポイント①

「小学校」と「特別支援学校小学部」の教科・科目の問題は、同じ問題です。

「中学校」と「特別支援学校中学部」の教科・科目の問題は、同じ問題です。

・ポイント②

「中学校」と「高等学校」の併願 はありません。

・ポイント③

第一志望を特支小中、第二志望を小中で併願する方は、第二志望で必ず加点申請できます。

併願の志願資格である特支免許状の所有は、小中では加点資格となるからです。

加点には申請が必要ですので、忘れずに加点申請してください。

6 試験の概要

小学校英語

小学校の英語教育の充実を目指しています



《特徴》

- 英語の専科指導教員や学級担任として、小学校の英語教育を推進する校種等です。
- 小学校と英語の免許所有が要件です。試験は小学校と同様ですが、実技試験は英語選択が必須。
- 採用時点では学級担任として力量を高めます。初任研は小学校の方と一緒にです。

《選考について》

- ①小学校英語を志望(併願希望なし)
小学校英語で選考 →不合格の場合→ 小学校で選考
- ②小学校を志望(併願希望なし)
小学校で選考 →不合格の場合→ 不合格
- ③小学校英語を志望(併願希望あり)
小学校英語で選考 →不合格の場合→ 小学校で選考 →不合格の場合→ 特支小学部で選考

6 試験の概要

一次試験の配点

		教職教養・一般教養	教科・科目	実技試験
小学校、特支小学部		100点	150点	—
中学校 特支中学部	実技あり	100点	100点	50点
	実技なし	100点	150点	—
高等学校	実技あり	100点	200点	100点
	実技なし	100点	300点	—
	スポーツ特選	小論文120点、面接280点		
養護教諭		100点	100点	50点
栄養教諭		100点	150点	—

加点制度を利用した方は、20点を上限に加点されます。

6 試験の概要

二次試験の配点

	個人面接1	個人面接2	作文	実技試験
小学校、特支小学部	210点	140点	50点	50点
中学校、特支中学部 高等学校 養護教諭 栄養教諭	210点	140点	50点	—

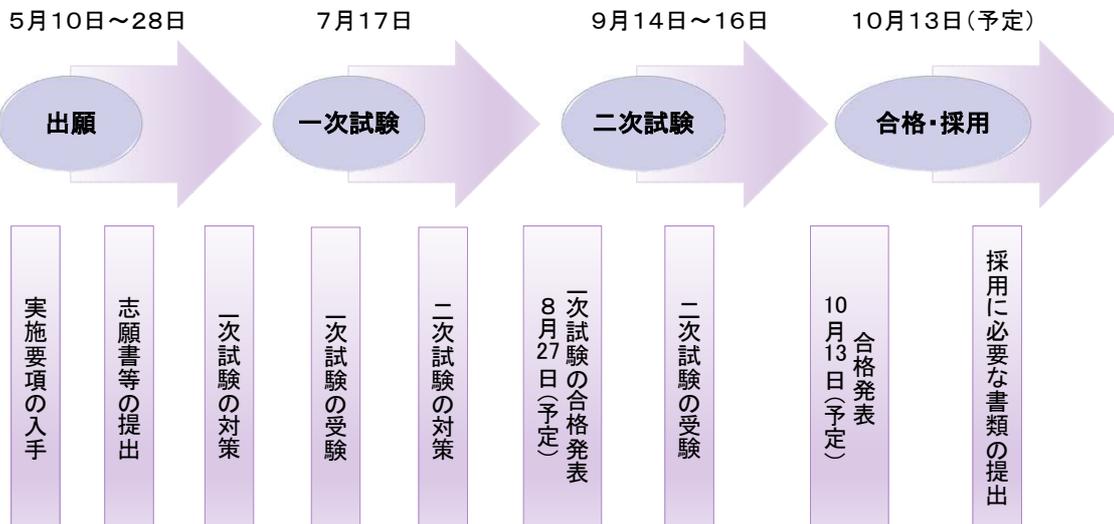
あなたの配点

一次試験()点 : 二次試験()点 = () : ()

6 試験の概要

スケジュール

～合格へのロードマップ～



6 試験の概要

出願

1 必要書類を入手する

① 「**実施要項**」を入手する

※願書配付期間: 令和3年5月7日(金)～5月28日(金)

- ・志願書等、ダウンロードできない書類も**同封**されているため、**絶対に入手してください。**
- ・県庁や総合支庁の窓口で配布しますが、**郵送で請求**できます。
※一部の大学の教採担当部局でも配布できます。

② 「**加点申請書**」等を**ダウンロード**する

- ・加点申請書や特別選考様式は、**実施要項に同封されていません。**
- ・HP「山形県」→「資格・試験・採用」→「**山形県公立学校教員の採用について**」からダウンロード。

6 試験の概要

ダウンロードして入手する書類

1 第一次選考試験

対象者	ダウンロードして入手する書類
講師等特別選考受験者	職歴申告書
現職教員特別選考受験者	在職証明書
スポーツ特別選考受験者	スポーツ特別選考調書
加点申請者	加点申請書

2 第二次選考試験

◇全員: 推薦書

<https://www.pref.yamagata.jp/700026/bunkyo/kyoiku/kyoin/saiyouzyouhou.html>

出願

2 出願する

志願書等を提出＝出願する ※受付期間: 令和3年**5月10日(月)～5月28日(金)**

・山形県庁13階の教職員課へ持参しての提出も可能ですが、**簡易書留による郵送**を推奨。

・持参は最終日の17時で締め切りますが、**郵送の場合は最終日の消印有効**です。
最寄りの大きな郵便局の窓口が何時まで簡易書留で対応しているか、事前確認を。

※コロナ禍による窓口受付時間が短縮になっている場合があるので、要注意！

注) 普通郵便でポストに投函すると、いつの消印になるかは分からず、追跡することが難しいので、必ず簡易書留で出願してください。

一次試験

令和3年7月17日(土)

① 試験会場

- 山形中央高校 (小学校、特支小学部、各校種等の「保健体育」)
- 山形北高校 (各校種等の「音楽」)
- 山形県教育センター (各校種等の「技術」)
- 上山明新館高校 (上記以外)

② 試験日程

- 午前
「教職教養・一般教養(小論文)」 → 「教科・科目」
- 午後
「実技」 ※実技のない方は午前で終了

どこにありますか？
どのように行きますか？
前泊は必要ですか？



一次試験の合格発表は8月27日(金)です。

6 試験の概要

二次試験

令和3年9月14日(火)～9月16日(木)を予定

① 試験会場

- 山形県教育センター

一次試験の合格通知に
日時を指定した文書が同封
されます。



② 試験日程

- 3日間のうち、指定された日時
- 「個人面接1・2」「作文」「適性検査」や説明を含めて半日で終了
- 小学校と特支小学部の「実技」は、別の日に実施

二次試験の合格発表は10月13日(水)です。



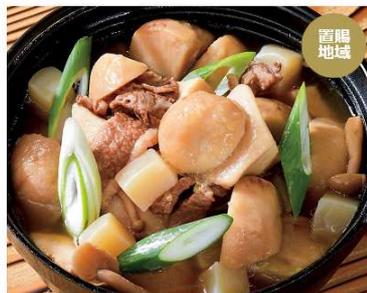
- ※大学院への進学(新M1)、大学院への在学継続(新M2)を対象とする
採用延期の手続きは、合格発表～12月中旬となります。
- ※二次試験不合格の場合、次年度の一次試験が**免除**となります。
(一次試験が免除となる選考区分は対象外)

6 試験の概要

7 よくある



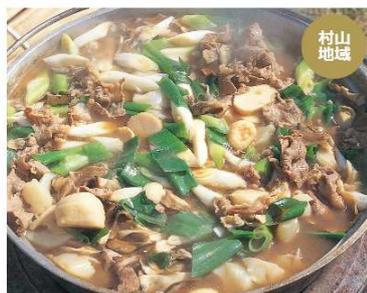
豚肉・味噌味



牛肉・しょう油味（かくし味に味噌）



牛肉・しょう油味



牛肉・しょう油味

志願についてのQ&A

Q: 小学校と特支小学部を併願する場合、**第一志望**をどちらにした方が有利か。

A: どちらを第一志望にしても、有利不利にはなりません。

ただし、選考する順番が決まりますので、採用されたい校種を第一志望にしてください。

Q: 小学校の実技試験は、**音楽と英語**のどちらを選択した方が有利か。

A: どちらを選択しても、有利不利にはなりません。

自分の力をより発揮しやすい方を選択してください。

Q: 出願時に選択した実技試験(校種等)を、**後から変更**することはできるか。

A: できません。出願前によく検討して選択してください。

Q: **出願後**に英語資格の結果が届く場合は、加点申請を行うことはできるか。

A: できません。出願時点で英語資格の証明書の写しの提出が必要です。

Q: **司書教諭**講習の単位を年度内に取り終える予定のため、加点申請を行うことはできるか。

A: できません。出願時点で司書教諭講習修了証書の写しの提出が必要です。

志願者の方に連絡するパターン

「同封いただいた返信用封筒の**大きさ**が間違っていますので...」
「同封いただいた返信用封筒に**切手**が貼られていませんので...」
「送付いただいた封筒の切手が**料金不足**だったため、教育委員会で立て替えましたので...」

「志願書には写真が貼られているのですが、受験票には写真が**貼られていない**ので...」
「志願書の写真と受験票の写真が**異なっている**のですが...」

「志願書に○をつけた志願校種と、受験票に○をつけた**志願校種が異なっている**のですが...」
「志願書の加点申請には○がついてるのですが、加点申請書が**同封されていない**のですが...」
「志願書に添付されているエントリーシートと**様式が異なる**のですが...」

「志願書の入った封筒が届いたのですが、**消印が締め切りの翌日**なので...」

余裕をもって確認すれば防ぐことのできる、あるあるです

7 よくある〇〇

出願時に気を付けてほしいこと



(県の鳥 オシドリ)

出願時に気を付けてほしいこと

- ①併願をする場合には、**両方の免許が必要**です。
- ②志願書と受験票の**下の△の部分**を切ります。
- ③写真は**裏面記名し、のり付け+テープ**でとめます。
- ④封筒の大きさは、**指定されたサイズ**にします。
- ⑤返信用封筒には**切手を貼ります**。
- ⑥**受付は午後5時、消印は5月28日(金)まで**です。
- ⑦一次試験の会場は、**4カ所**に分かれます。
- ⑧加点は、**申請が必要**です。

いつでも、何でも**相談**してください！！

山形県教育庁教職員課(県庁13階)

教員採用試験担当(働き方改革推進)	023-630-3406
小学校・中学校・特別支援学校	023-630-2864
高等学校	023-630-2863

HPは、更新されますので**チェック**を！

「山形県」→「資格・試験・採用」→「山形県公立学校教員の採用について」
※3月1日から、**教員採用試験SNS(山形県教員採用)**を開始しています

臨時教員(講師等)は常に**募集中**！！

365日**常に募集**しており、**随時任用**(採用)しています。
登録票(履歴書)を提出した方と相談して、任用する学校が決まります。
フルタイムから数時間、一年間から年間数日と様々な任用があります。

最後にお知らせです